

環境・農水常任委員会 県内行政調査

1 調査日 令和3年7月28日（水）

2 調査の概要

(1) 滋賀県林業会館（滋賀県大津市大萱）

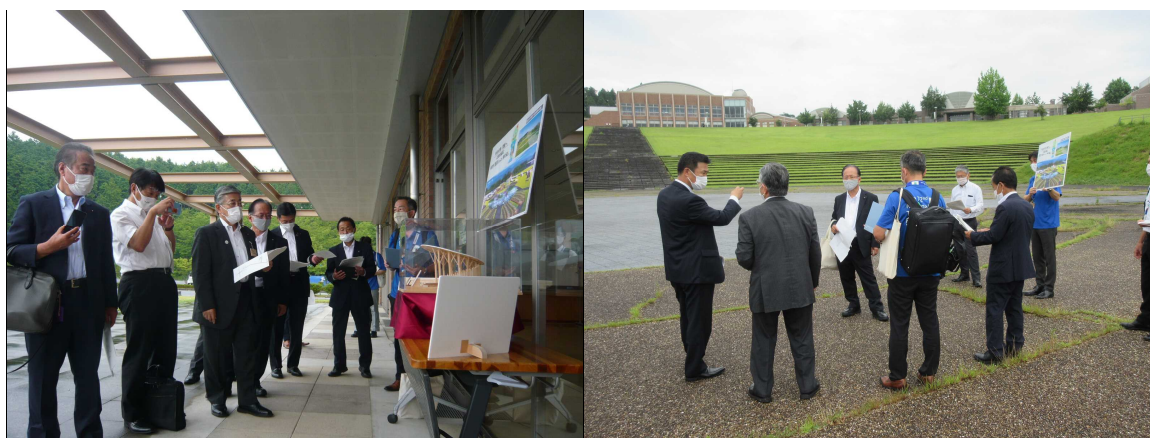
滋賀県林業会館は林業関係者の拠点施設として令和3年4月に移転新築された施設である。同施設には滋賀県産「びわ湖材」がふんだんに利用されており、木造非住宅建築物のモデル的な建築物である一方、一般に流通している規格材の利用により、建築コストの低減が図られていることから、滋賀県林業会館を訪問し、施設の調査を行うとともに、滋賀県のこれからの森林・林業を担う森林組合の職員や滋賀もりづくりアカデミー卒業生と、「次代の森林・林業を支える人づくりについて」をテーマとして意見交換を行う県民参画委員会を実施した。



(2) 鹿深夢の森（甲賀市甲賀町）

全国植樹祭の式典会場である「鹿深夢の森」は、琵琶湖の水源地であり、かつ、林業の盛んな地域に位置しており、大人から子どもまで幅広く市民に親しまれている。

本県において令和4年に全国植樹祭を開催する予定となっており、会場整備について具体的なイメージを持って今後の委員会審議を行うため、全国植樹祭式典会場の調査を行った。



(3) 甲賀市甲賀町内林業現場（甲賀市甲賀町）

調査先である林業現場は、急峻な地形であるため作業路設置に通常に比べ経費が高くなる

とともに山腹崩壊の危険性が高いと予想されたため、間伐を列状で行う「列状間伐」を行っているが、列状間伐の列は、地形に起伏があると設定しにくいいため、地上からでは適切にできているか確認が難しい。

調査先では、ドローンを活用することにより、鳥瞰的視野での森林状況の把握を可能とし、作業および調査を効率的に行っているため、他の林業現場でも参考となることから調査を行った。

